

# 生活圏での熊の出没から人命を守るためには



質問者  
田代 実 議員



昨年11月6日、寄地区弥勒寺地内で11kgの熊が農にかかりましたが、小学生の通学路に近いため殺処分しました。また、松田山では10月14日に72kgの熊を捕獲後、山北町境の寄地区の林道沿いに放ちました。

県内では、丹沢山地にツキノワグマが40頭程生息し、県が絶滅危惧種に指定したため、捕獲後は



寄の水源地林

本年度は11月25日まで、8件の熊が出没し増加傾向にある。

特に当町は中山間地が多いので、農地に近い箇所やハイキングコースで目撃されている。

鳥獣保護地区に放獣とのことです。しかし、里山で暮らす人々や農林業に携わる方にとっては、生活圏での熊の出没は人命に係わる重要な問題です。

町は、同じ問題を抱える市町村と連携し、県に対して熊の餌資源であるブナやコナラなどの実りが確保できる施策を強く要望すべきです。



## 熊から人命を守る施策を県に要望する

回答 (町長)

また短期的には、人命を守るため、人里に熊を出没させない施策を関係市町村と連携し、県に対して、財政支援をされるよう要望していく。

中期的な取り組みとして、県が水源林整備でブナやコナラなど熊の餌資源となる広葉樹を育成すること。

万一遭遇した際の対応や、人里に誘引しないための対策を徹底するよう注意喚起していく。

人と遭遇した際は、人身被害や死亡事故といった痛ましい事例もある中で、その原因を解消することが重要である。熊が人里に生息するようになったことを認識していただく。

# 今後の町づくりについて



質問者  
井上 栄一 議員



本山町長は、町長選挙において3期目の当選をされました。1期目において自ら制定された多選自粛条例によれば、今後4年間松田町行政を最終期の任期として舵取りをされることとなります。

そこで、以下について伺いたいします。

(1) 松田町の将来ビジョンはどのようなビジョンか。今後4年間でどのように将来ビジョンを描こうとされるのか。

(2) 今後4年間で実現されたいとする重点事業。また、(1)のビジョン実現のための長期重点事業計画は。

(3) 2023年度からの総合計画後期計画について、基本構想・基本計画の見直しは。

## 「チルドレンファースト」を旗印として進める

回答 (町長)



の保育料無償化、松田中学校の木質化大規模改修とグラウンド芝生化、寄みやまグラウンドの芝生化など。

大規模改修予定の松田中学校校舎

